



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

# 勝浦ロータリークラブ 49期 THE WEEKLY REPORTS

2011-2012年度  
No. 23 / Total 2319  
例会：2012年2月24日  
発行：2012年3月2日

R I 会長 カルヤン・パネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会 長 関 正己

幹 事 漆原 摂子

クラブ会報委員長 渡邊 昌俊  
副委員長 齋藤 麻美子  
委 員 石井 美香子  
渡邊 ヒロ子

## ◆3月2日(金)のプログラム

クラブフォーラム

(識字率向上月間)

## ◆3月の例会予定

9日(金) ゲスト卓話

16日(金) 会員卓話

23日(金) ゲスト卓話

30日(金) 未定

## ●会長挨拶 関正己会長



こんにちは。13日のインターシティ・ミーティング(以下I・M)に参加された会員の皆さん、大変お疲れ様でした。

6年ぶりのI・Mが無事成功裏に終わる事が出来大変うれしく思っています。これも実行委員長始め執行部の皆さん、そして会員の皆さんのおかげと感謝しています。リーダーの大矢氏またガバナーのトークはもとより、我がクラブ輩出のガバナー補佐釜田氏の素晴らしいトークには普段の釜田氏を知っている私には、このギャップはなんなのだと思わせる程、言葉は当てはまらないかも知れませんが、「あきれるほど素晴らしく尊敬の出来る挨拶」でした。お客様である各クラブからもお褒めの言葉をいただく事が出来I・Mの行われる年度に会長をやれたことを光栄に思いました。

講演にお招きした、6代目三遊亭圓楽師匠のトークもプロとは言え普段寄席で行われる「笑点」とは違った、教養に満ちた現代に則した素晴らしい講演でした。車から降りて玄関に入る前、冗談を一言二言 言い交しましたが、やはり「笑点」そのものの気さくな御仁でした。そんなわけで、楽しくも整然とI・Mを終了することができたのですが、不幸にして参加できなかった会員の皆様には週報などでその楽しさを是非共有し、次年度50周年記念行事にはスケジュールを合わせ是非参加され、その意義を会員全員で共有されるよう希望いたします。

話題は変わりますが、日をおいて15日には職業奉仕委員会、水野理事、中村委員長、牧野社会奉仕理事らが主体となりブルーベリヒルにて勝浦小4年生55名を対象に料理教室が行われました。ブルーベリヒル勝浦様にはI・Mに続き、多大なご協力を得たことに感謝の意を表したいと思えます。また、18、19日と2日間ライラに依る歩行ラリーが行われ、クラブからは渡辺ヒロ子さんが参加してくれました。この2件の詳しい事は各委員長から後程ご説明が有ろうかと思えます。

## ●幹事報告 漆原摂子幹事

1. 国際R日本事務局より 3月のRレート 1ドル=78円

2. 5月22日(火) 鴨川・千倉・勝浦 3クラブ合同例会 鴨川にて 詳細は決定次第ご案内致します。

## ●委員会報告

### ◆次年度会長 古川範男君



お手元に今年度の組織表がいつていると思いますが、こんな内容で新年度やらせていただけたらと思います。早速ひとつ訂正があります。一番下の、第 2079 地区クラブ奉仕委員会となっていますが、関さんはロータリー委員なので、それだけ訂正しておいてください。最近の景気を読みますと、働き者のアリをある瞬間観察しますと、7割は遊んでいるそうです。一生涯観察すると、2割は全く働かない、という研究成果が出ております。実はそれには意味がありまして、何かが起こったときにはみんなが働けるように、という組織になっているのです。という訳で、ロータリーも来年 50 周年を迎えます。ある意味では緊急な状態だと思います。アリよりも人間の方が高等動物でありますので、ぜひ、7割も遊ぶことのないように 50 周年に向けて邁進していただけたらと思います。よろしくお祈いします。

### ◆新世代育成委員長 渡邊ヒロ子君



皆さんのお手元にお配りしました、ライラの報告書なのですが、話し始めると、報告したいことがあまりにもたくさんありましたので文書にしました。あとで目を通していただけたらと思います。参加するまでは、ほとんどの説明が何もなく、一体何をやるんだろうとか、本来の目的であるコミュニケーションスキルを高めるとか、あるいはスキニップ、リーダーシップだとかそういったものを磨かれるような研修ということを伺って参加したものの、この研修で一体何が身につくんだろうとい

う不安にさえ思いました。というくらい、グループですが皆さん一人ひとりの参加ですので、黙り込んだような状態でした。それが、わずか 2～3 時間の間にこんなに親しくなれるのかというくらい、みんなが仲良くなっていくのです。最後に別れる時には、ぐっと胸が熱くなり涙が出てしまいました。またいつかみんなで会おうという約束をするような、そんな雰囲気まで出ていました。皆さんもたくさん参加されている方いるかと思いますが、ぜひこれは体験するべきだと思いましたが、身近でいうと若い社員の方とか、参加してみたらいいんじゃないかと本当に思いました。来年引き継がれる方も、ぜひ参加してもらいたいと思いました。

### ◆職業奉仕委員長 中村満君



先日、職業奉仕・社会奉仕で行いました。その様子を報告させていただきます。

### ●ビジター参加者挨拶 ◆大矢惣一郎君



先日は IM にお招きいただきまして、ありがとうございました。非常に成功に終わったのではないかと思いますけども、まず感じた事は、前はみんな主役を演じていたということです。

一人ひとりが、今のアリの話じゃないですが手を抜いているのが一人も居ませんでした。全部が前向きでやっていました。鎌田補佐の挨拶も大変力強く立派でした。勝浦からガバナーを出したらいいんじゃないかと思っただけです。

会長も実行委員長も非常に素晴らしい話を皆さんするなあという風に思いました。実は私のところは今年 50 周年なのです。会員が非常に少なく、今いろいろとしているのですが、この勝浦ロータリーさんの雰囲気はこの間じっくり話しまして、会長・幹事をはじめ、もうちょっとしっかりしろということを行いました。どういう風になるか心配ではないですが、まあ何とかなるんじゃないかと思えます。

この間参加しまして感じたことは、全員が非常に良い雰囲気でした。私は、話したのはですがマイクの方がすごく良いです。いつも少し早目に帰るのですが、料理が次から次へとすごいのが出てくるものから、2 日分くらい食べて帰りました。私今一人暮らしなものですから、貯め食いをしておこうと思ひまして、本当に素晴らしい料理でした。会場も良かったし、みんなの前向きな雰囲気も良かったし、私に言わせれば、お世辞なしに満点じゃないかと思ひます。来年みなさんも 50 周年迎えられるということですが、あの勢いならどうって事ないと思ひますので、ぜひ良い会にしていってください。

## ●ゲスト卓話

著書：『おやじ頼む 死んでくれ』

### ◆大森優江様



ただいまご紹介にあがりました大森優江と申します。2009 年に「おやじ、頼む死んでくれ」という題名で、文芸社より本を出版させていただきました。

それはですね世の中を見ていると、なんて自殺が多いんだろう、うつ病が多いんだろう、登校拒否が多いんだろう、と病んでる人が多くて、薬をもらって精神科医に行っている子ども達が多い事に目をつけて、たまたま性格的にやんちゃでユニークなものを

持っているもので、人の出入りが多くて、職種は化粧品関係の仕事をしていまして、カラーコーディネーターとメイクアップアーティストの資格を取得しています。娘と一緒に化粧品関係の仕事をしているんですけど、千葉県内を歩いていますと「今日大森さんと会えてよかった。本当は辛かったんだ。」と言われ、私今日あの人と何話したかなと思ひながら「大森さんと話せて良かった。俺は今日死のうと思ひてたんだよ。」と言ってくれるのです。そんなこともありまして、周りから押されて 1 冊の本を出したらそれなら私にはネタがたくさんある、と思ひました。

私が生まれて、物心がつくと、刺青をしたたくさんの男達がいる麻雀部屋で寝起きしていました。その頃の大人達はものすごくいかつくて、愛情があつて、よくポケットからくしゃくしゃな 1 万円札を、「おい、まーちゃん、おこづかい。」とくれたことを覚えています。今自分がその同じ歳になった時に、果たして隣のなんでもない子どもにお金をあげられるかといったら、今の大人といったら、昭和の大人に比べてできないですね。それを感じた時に突っ走ろうと、親父の背を見て育ってきた私は、世の中に出たいって、そう思ひました。暴走族の人と半年一緒に過ごした体験と、6 回首つり自殺をしてどうしても家族が「次はもう無理」という女の人と、「学校に行きたくない」と言う青年と、「親を殺したい」と言う青年と、一緒に共同生活をしました。もちろん食費は、私の 20~30 万の稼ぎの中でのみんなの食費なので、アイデアを出しました。海に行つてサザエ・アワビをとつて、山に行つて筍をとつて、大学生も交えて外でご飯を食べて、今日この中から食うんだぞ、今日この中から生きるんだぞ、…とそれをやってきましたら口コミで各地から「危険な子がいるの」「大森、助けられない?」「お願い、うつ病を引き出して」と声がたくさん来まして、今現在何万という人達を救つてきた事実があります。

そして千葉県は大体講演をし周つて、都内も講演して、あとは全国行きたいなと思つた時に震災があつて、そして今日になり、今日ここでたくさんの人に聞いていただける事を本当に嬉しく思ひて、胸いっぱい来させていただきました。

子どもが「もう学校に行きたくない」と言うと、親が病んでしまって、父親や姑さんが「育て方が悪い」とか、やっぱり家庭が歪むんです。その時私は、いつもその子を見て投資のように「この子は学校行かせちゃダメ」、「この子は行かせなければいけない」、「この子は、私が校長先生とお話するから、おばちゃんが行っちゃいけない」、「お前が行きたくないんじゃない、おばちゃんがいよって言ったら学校に行つて良い」、私はある時はランドセルを背負って勝浦小学校に登校した時もありましたね。こういう事をして、子どもが死なないなら、大人が死なないならどんな事でもやりました。子ども達に、「おばちゃんかっこいい？」と聞くと「かっこいい」と言ってくれるんです。子ども達は言わなきゃいけないと思っているのかもしれませんが、「かっこいいんだったら、おばちゃんいついてこい」って言うと、親を殺したいっていう子どもが、私についてきてくれました。君津の子です。「どうしても親を殺したい」という子が居まして、「今日出刃包丁を3本持って家出しちゃったの」と電話がありまして、そこは踏切で、カンカンと音が鳴っていました。「ねえ、お前どうするの?」「誰でも良いから殺したい」「ちょっと待って、殺す勇気と活力があるなら君津から勝浦まで歩いて来い」そう話すと、彼は歩いて来てくれました。私がドアを開けたら、ひよろひよろになって、抱え込むようにしないと歩けない状態で、足もマメだらけで、包丁をとって「なんで親殺したい?でも、おばちゃんはお前の気持ちがわかる。」私の父は大酒乱でして、毎晩酒を呑めば家族に暴力をふるって、それで麻雀をやつて道楽して家族を泣かせて暮らしてきました。今この歳になって、その父親に感謝しているのです。あの時の麻雀やつた、リーチの目。今私達大人には、リーチかかった時の目はないです。リーチがかかってポンを出す時の、ここで勝たなければ借金返せないんだという、自分の父親のあの時の勢い。あれをですね、今死にたい子ども達に私はあげています。自分の父親が酒乱だった、ギャンブルやつた、その事が何万という人を救つた事に対して、親父すごいなあ、といつも感謝しています。

でも実際に「親父すごいね」と言うと「そうだろう」とつけあがるので黙ってます。「親父、私ねいろんなところ講演してるんだよ」と言うと「はっ、お前がか?」で終わりです。「お葬式の時に歌を作つて歌つて」と言われたこともあります。

やっぱり人と関わりますと、その人その人に歌ができあがるのです。作詞作曲して歌を歌つてあげて、亀田総合病院でも、危篤の女性に歌を歌つてあげて、私のおかげじゃないんですけど生還して、もうみんな喜んでという経験もあるんです。その子独自の歌です。「ここICUでしょ、みんな意識ないから大きい声で歌つちゃつていい?」と聞いたら先生が「良いよ」と言うんですね。もう、そつちに行っちゃダメ、戻つてきてという気持ちで私が作つた歌を歌つて、看護師さん達が手拍子をして、そうするとぱつと目を開けたのです。そして歌詞を渡すと、意識が朦朧しているなか一生懸命目で追ってくれるのです。神様がどこにいるかわかりませんが、お願いしました。「神様、お願い。私、彼女と一緒に全国をまわりたいから、どうかこつちの世界に残してください。」と。いつもお願いするんですけど、やっぱり通じるんですね。それを子ども達にも伝えていきます。この間も、親を殺したいと言つていた青年から「勝浦高校に受かつたよ!」という電話がかかつてきまして、「やつたね、おめでとう!ありがとう。よく頑張つたね」と一緒に喜んで、声をかけました。その子には母親がいないので、母親がいない家庭で育つた子というのは、「ありがとう」だとか「頑張つたね」とかつていう言葉を言われないで育つてきた子なのです。だから、そういう言葉をたくさんかけてあげました。またそういう時に大事なものが、体当たりで、正面から向き合つて、心から接してあげることです。昭和の大人達のように。そして勝浦弁で話すことです。今の大人達は、例えばご飯を食べたら美味しいものは「美味しい」と、また美味しくないものもその場では「美味しい」と言つて、後に陰で悪口を言つたりしますよね。お世辞や社交辞令で。そうではなく、美味しいものは「美味しい」、美味しくないものは「次はもっと美味しいもん作れよー」などと、昭和の大人のように心と心でぶつかつて、接することが大事だと思うのです。

また、子ども達と関わっていると自然と頭にフレーズが浮かんできて、曲が生まれてくるんです。私は勝浦の海岸でたくさん人を救つているんです。勝浦の海岸を歩いて、「勝浦の海を見てごらん」つて言うんです。それで震災後でも、「おばちゃん、津波大丈夫?」と聞かれますが「大丈夫!来たら逃げれば良いじゃん」と言つて海を歩いているのです。

他では言えませんが、千葉県で一番海岸がきれいなのは勝浦です。これは、私、他で雑誌に載せてもらってるんですけど、40年間千葉県の海岸に打ち上げられた貝殻を集めて標本してあるんです。多分私しか持っていないと思いますけど、デヴィ夫人のお友達だったり、芸能人だったり、ジャズシンガーだったり、やっぱり色とりどりの貝殻を見たいと、家に来てくれています。この間は、元吉接骨院の先生の紹介で、矢島実さんというオリンピックの強化選手を育てている方なんですけど、その方は海外にもよく行かれていて、家にある勝浦の貝殻を見て「うわあ」と言うんです。皆さんもぜひ日にちを決めたらアートしておきますので、これは初めてと思われると思います。私も日本の子ども達に教育として、また海ってきれいなんだよってということ、あと東北を怖がっている子ども達に、海も泣いているんだよってということを伝え、貝殻を見せてあげたいと思っているので、ぜひロータリーの皆さん達にも、人数を集めて来ていただけたら嬉しく思います。このような活動をこれからもしていきたいと思っております。3月は銚子で講演の予定です。なぜ、「おやじ、頼む死んでくれ」と強烈な題にしたか。都内の何十万とある本の中で、ふっと目について手に取ってくれる題、「これしかない」と思いました。酒乱の親父に死んでほしい、そう思ったことのある私の1フレーズをとって本の題名にしました。これからも勝浦で元気良く頑張っていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

### ●ニコニコBOX

#### ○自主申告

#### ◆釜田英之君



先週のIMですけれども、会長・幹事、それから千葉実行委員長を中心に皆さまのご協力が無事終わらせることができました。ありがとうございました。

それからIMが終わりまして、分区内の各クラブを

訪問させていただいたのですが、リーダーの話に感動した、もらい泣きしたというクラブが多くて、それから今日の大森さんとの話とで合致するようなところもあるんですけども青少年と関わりを持つのには真心で、正面から向かって誠実に接しないと伝わらないよという話をしていただきまして、各クラブも青少年とマンネリのような形で接していたと。

今後、クラブとして青少年との接し方も変わるかもわからないです。リーダーに大矢さんを指名した自分を自分で褒めてあげたいくらいです。本当にありがとうございました。

#### ◆千葉正徳君



それぞれ皆さんがIMについてのお褒めの言葉、いろいろと申し上げていただきましたので、あえて細かいことは言いませんが、いずれにしても各委員長が的確に、しかも全員で今回のIMを作りあげていただきました。特にブルーベリーヒルの社長である漆原さんと、そのスタッフさんとの心遣いで、一丸となってモード作り、会場作りをやっていただいた、この事が全てを物語っているのではないかなと思います。

#### ◆関正己君



IM成功に終わって本当に良かったなと思っています。大森さんのお話で、体当たりで自分を全部さらけ出して子どもにぶつかる、これは例えば私も子どもが成長していく過程で殺しても、と思うときもありました。

これはやはり親父としての責任だなと思ったことがあります。今はどうかと言うと、誕生日になると酒を贈ってきたり、良い子どもに育ててくれたなという風に思っております。

### ◆高梨薫敏君



先日のIM大成功に終わり、本当におめでとうございます。皆さま御苦労さまでした。

### ◆古川範男君



お手元に資料があるかと思いますが、人生には笑いが必要です。

ただ私が考えるところ、笑いにも2種類あるようで、「人の不幸は蜜の味になる」と言っただけで人の不幸を耳にしたりすると思わずニタッと笑う、これは悪魔の笑いです。非常に不健康で後味の悪い笑いです。また円楽師匠もそうですけど、非常に後味の良い笑い。これは非常に長生きできます。

おおいに笑っていただければ、皆さん平均5年は長生きできるのではないかと思います。ぜひご観賞いただきたいと思います。

### ◆西川佳璋君



IM大成功に終わりました、大変おめでとうございます。

13日夜18時頃に終わりました、私早々に失礼して、明けて14日、ノルウェーに行っていました。オーロラ観光で行ってまいりまして、見事なオーロラを見てまいりました。ここ6年間、ずっと体調不良でしたが、次年度の会長の古川さんに、国際奉仕の委員長ということでご指名いただきまして、ようやく役に立てる時がきました。その旅行遠征も含めて1週間ほど留守にしましたが、なんとか無事に帰ってまいりましたので、来年1年間、無事に過ごせるのではなかろうかなと思っております。

皆様のご支援・ご協力によりまして健康を取り戻すことができました。厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

### 出席報告 2月24日(金)

#### 出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
37名	29名	5名	3名	91.89%

欠席：浅野玄航、内田秀実、吉野裕子